

船舶事故等調査報告書

平成25年4月25日  
運輸安全委員会（海事専門部会）議決

事故等番号	2012仙第23号
事故等種類	運航不能（絡索）
発生日時	平成24年6月30日（土） 03時50分ごろ
発生場所	青森県外ヶ浜町平館港東南東方沖 平館港東防波堤灯台から真方位114° 2.3海里付近 （概位 北緯41° 08.6′ 東経140° 41.2′）
事故等調査の経過	平成24年7月2日、本インシデントの調査を担当する主管調査官（仙台事務所）を指名した。 原因関係者から意見聴取を行った。
事実情報	
船種船名、総トン数	遊漁船 第一福運丸、2.8トン
船舶番号、船舶所有者等	212-13690青森、個人所有
乗組員等に関する情報	船長、二級小型船舶操縦士・特殊小型船舶操縦士・特定
死傷者等	なし
損傷	舵取付け部付近に割損、舵取機の油圧シリンダーに曲損
事故等の経過	本船は、船長が1人で乗り組み、釣り客8人を乗せ、平館港東南東方沖を約18ノットの対地速力で手動操舵により北北西進中、平成24年6月30日03時50分ごろ舵効が得られなくなり、船長は、舵に何らかの異変が生じたものと思い、主機を中立とした。 船長は、舵取機を点検したところ、舵取付け部付近及び舵取機の油圧シリンダーが損傷し、プロペラ翼及び舵に巻き付いている数本のロープを発見した。 本船は、03時59分ごろ118番通報して救助を求め、06時05分ごろ海上保安部の要請で来援した水難救済会所属船にえい航され、06時40分ごろ平館港に入港した。
気象・海象	気象：天気 晴れ、風向 東、風力 2、視界 良好 海象：海上 平穏 日出時刻：04時08分ごろ
その他の事項	船長は、本インシデント当時、船首部の操舵席で見張りを行っていた。 船長は、パラシュートアンカーを入れて救助を待つ間、プロペラ翼及び舵に巻き付いていた数本のロープを切断し、一部のロープを取り除いた。 ロープは、直径約1cmで白色や緑色などをしていた。 本船は、上架して点検した結果、舵取付け部付近が割損していたが、プロペラ翼及びプロペラ軸に損傷はなかった。 浸水及び油の流出はなかった。

<b>分析</b> 乗組員等の関与 船体・機関等の関与 気象・海象の関与 判明した事項の解析	なし なし なし 本船は、平館港東南東方沖を北北西進中、プロペラ翼及び舵にロープが絡んだことから、舵取機が使用できなくなり、運航不能になったものと考えられる。
<b>原因</b>	本インシデントは、夜間、本船が平館港東南東方沖を北北西進中、プロペラ翼及び舵にロープが絡んだため、舵取機が使用できなくなったことにより発生したものと考えられる。